

「嵐の中の静けさ」—使徒行伝講解説教 49—

使徒行伝

27章21節～38節

説教 本庄侑子牧師

聖堂に集まらず、各自の場所で礼拝を守った3月1日、聖堂は空っぽではありませんでした。この時間、各地で礼拝を捧げている兄弟姉妹がおられるからだ。そう確信させられました。また、今日の聖書箇所を通して、世界中が明日への不安を覚えているこの時、私たちがそれぞれの場所で礼拝を守り、世に遣わされている意味も立ち上がってきました。

この時、パウロはローマへの途上にありました。ある時、舟旅を共にしてきた人々の間で意見が分かれました。もう冬にさしかかっていましたが、冬は波が高くなるので、舟旅は行わないのが原則でした。パウロは港にとどまるように警告しましたが、船長や船主は船出すべきだと主張し、大多数の人たちも、クレテのピクニス港に行って、そこで冬を過ごしたいと主張しました。結果、彼らは船出をしました。案の定、暴風で思うような進路など取れません。事態はどんどん深刻化し、自分たちがどこにいるかも分からなくなり、最後の望みも無くなってしまいました(20節)。

そんな中、ある人物が立ち上がりました。「元気を出さない。舟が失われるだけで、あなたがたの中で生命を失うものは、ひとりもないであろう。」(22節) 声の主はパウロでした。パウロは、人々と同じ状況にありながらも、励まず言葉を語りました。御言葉を聞いたからです。

「しっかりせよ。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなくてはならない。」(使徒行伝23章11節) この時も、パウロは荒波に巻き込まれていました。祈っても奇跡は起きず、人の悪意や欲に巻き込まれ、ローマに護送されました。しかし、それらに先立って、主はパウロのすぐそばに立って語ってくださいました。これから実現していくのは人の思いではない。あなたをローマに遣わすという私の計画が実現するのだ、と。その主の御言葉によってパウロは気を確かにさせられ、望みを失いそうになる出来事の中でも、主の御心が前進しているのだと信じさせられて、今日まで歩んできたのです。

その主が再び、現れてくださいました。「昨夜、わたしが仕え、また拝んでいる神が」(23節)。パウロは、暴風吹き荒れる夜も礼拝していたのでしょう。主はそんなパウロの「そばに立って」(23節)、念押しするようにお語りになりました。「パウロよ、恐れるな。あなたは必ずカイザルの前に立たなければならない。」(24節)

「恐れるな。」1日の礼拝でもお聞きした言葉です。人間にとっては恐れを抱かずにいられない時でも、神様の救いの歴史にとっては重大な出来事が起ころうとしている時。主は今、これを耳にしている私たちにも、名指しでお語りになっています。「〇〇よ、恐れるな。」あなたは、私が救いの歴史を開いていくための鍵を握る重要人物なのだ、しっかりせよ、と。

この時、パウロはもう一つのことを耳にしました。「たしかに神は、あなたと同船の者を、ことごとくあなたに賜わっている。」(24節) 主は、舟に乗っている全ての人を、パウロにお任せになっているということです。私たちの人生にも、同じ舟に乗り込んで、舟旅を共にする人たちが大勢います。家族、職場、学校、地域社会。同じ舟に乗っていますから、皆等しく、暴風に悩まされます。そんな中で主は、私たちを乗り込ませた舟の中の全ての人々を見つめておられ、祝福、救いをもたらそうとされているのです。

人々は、不安の中、次から次へと降りかかる対処に追われて、14日間も食べることを忘れていました。自分の身を守るためには卑怯な手段を使ってもいい。そんな心理も舟の中に入り込んでいました。パウロとて、当初はそうだったかもしれません。パウロが語り出したのは、「長いあいだ食事もしないでいた」(21節) 時でした。「昨夜」(23節)、御言葉を聞いたことによって、ようやく語り出したのです。「パウロよ、恐れるな。」あの主の御言葉により、落ち着いた心を取り戻して、今、同じ舟の中にいる人たちに何が必要なのかを見定めていきました。

「だから、いま食事を取ることをお勧めする。それが、あなたがたを救うことになるのだから。」(24節) パウロは食前のお祈りをして食事をしました。その些細な信仰の姿は、全ての人々を元気づけ、自分勝手な思いも退けさせ、皆で食事をする力となりました。キリスト者が、嵐の中でも神を仰いで祈り、落ち着いて生活する姿には、周りの人たちにも同じ天来の平安にあずからせ、一つにさせる不思議な力があるのです。

主は今週も、私たちの名を呼んでおられます。混乱が続くこの世界にあって、私たちが会おう全ての人を主が顧みておられ、天来の平安に導き、一緒に海を越えさせようとしておられるからです。今日、御言葉を聞いて立ち上がるその舟の中に、主が共におられます。

(記 本庄侑子)